

# Shiripaの星

2005.11

Vol.5



**自家製手打ち蕎麦・瑞兆  
札幌にて開店しました**

25期 田中順也



なるまで続いたのですが、その時はクラスに一人しかいないから頼む、と頼まれました（笑）。お蔭様で3年間皆勤したのも今では良い思い出です。

今から17年前の冬に、受験で訪れた北星学園余市高校を見たときの驚きは今でも忘れていません。木造の校舎で、石炭ストーブ。自宅・札幌からJRとバスを乗り継いで通うには、凄い所にきてしまったと思いました。

在学中は3年間、安河内先生のクラスでした。1年生の時は皆勤賞をとれば何かもらえる、と騙され皆勤しま

「本校25期卒業生である田中順也さんが、「手打ち蕎麦・瑞兆」を開店されました。田中さんは本校卒業以来、専門学校を経て蕎麦チーン店に就職。爾来技術を磨かれ、めでたくこの度の独立開業となりました。是非お近くにお寄りのさいはお立ち寄り、自家製手打ち蕎麦をご賞味ください。田中順也さんから文章が寄せられておりますので紹介させていただきます。

学園祭など行事ごとに全力投球することでした。やりすぎで、準備をギリギリ間に合わせるために、札幌通学組は先生の家に泊り込んだりして徹夜で打ち合わせ。作業もハードで、他のクラスにいたら味わえない思いを沢山させてもらいました。先生には迷惑をかけたと思いますが、私たち卒業生にとっては楽しく、今でも笑つて話せる素晴らしい思い出になっています。

進路は二つで、先生方から大学進学を勧めていただいたのですが、在学中からアルバイトをして興味を持つて、調理師の専門学校に進学させてもらいました。その後、蕎麦屋に無事就職を

さては楽しく、今でも笑つて話せる素  
材になりました。木造の校舎  
とバスを乗り継い  
でました。1年生  
に騙され皆勤しま  
した。3年生に  
なるまで続いた  
のですが、その  
時はクラスに入  
しかいないか  
ら頼む、と頼ま  
れました（笑）。

お蔭様で3年間  
省勤したのも今  
では良い思い出

進路について先生方から大学進学を  
勧めていただいたのですが、在学中か  
らアルバイトをして興味を持つていた  
調理師の専門学校に進学させてもらいました。その後、蕎麦屋に無事就職を果たしました。以来11年間修行をさせていただいて、2005年6月に念願の自分の店を開業することが出来た次第です。開店の日も、お花を届けていたり店に来てくれたりで、同級生には感謝しています。また25期生のみんなや、担任の安河内先生、塚原先生、紺野先生が来店してくださっています。

お店の話をすると、手打ち蕎麦のお店です。場所は札幌市中央区南4条西20丁目になります。少しわかりづらく



おります。お蕎麦の量も多めにしてありますよ。最近はご近所の方や会社員の方々に使つていただいて、有り難いです。現在の所、定休日は設けていません。営業時間は昼11時から夜9時までです。お近くに来た時は是非お寄りください。お待ちしています。

目立たないところですか、北星学園女子中高や札幌医大に近い所にあります。メニューは、せいろ500円、天ざる1000円など値段も手ごろにしており、蕎麦と丼のセットも取り揃えて

A map showing the location of 瑞兆 (Miraku) in Nakano. The building is marked with a blue square and the name "瑞兆". Other landmarks shown include 大通り (Oodori), 北海道理容専門学校 (Hokkaido Hair Styling Specialized School), 同交会病院 (Domei-ka Hospital), 円山リラクリニック (Enzan Rila Clinic), モービル (Mobile), 桜井病院 (Sakurai Hospital), and 西20丁目通り (West 20-chome Street). A blue line connects the 瑞兆 building to the Victoria Building.

# 北星余市高校

気が付くと28年が過ぎていた…

10期 板谷 幹男



学び舎で、先輩達が作ったグラウンドの  
ほか周りは一面の畠の中で、学生服を着  
て学校生活を送っていた…。

「お前はどうなのよ。俺らは仲間だべ  
やー!」「俺たちがしないで、誰がやんのよ。  
やるつて言つたらやるしかないべや!」  
熱さは伝染する。気が付くと無理を通し  
て道理を引っ込め、「仲間」と共に「友情」  
を確めながら「団結」することを、恥じ  
ることなく「誇り」を持つて過ごしてい

「自分だけの真実」を抱え仲間と一緒に「自分達の正義」だけで、社会や世俗との矛盾や学校の規則に牙を剥いていた。真っ直ぐで世間知らずな情熱を頼りに、仲間との連帯感が産む力は計り知れず、「純粹」だけで進むことができた。

義務教育の中で「勉強の結果」こそが「人間の価値」の基準であり、人生の一番の判断材料なのだと散々言われて北星に入学した。当時、殆どは余市・古平・美國・岩内・寿都・蘭越・黒松内・真狩などから通学してきていた。せいぜい遠くても札幌や千歳、函館から来ている位だった。一癖も二癖もあるようなヤツばつかりが集まっているようで、要領良く立ち回つて三年間を過ごせば、それで良い

中、10期の担任は、A組高田先生、B組清水先生、C組武村先生、D組一戸先生だつた。現在も一部残つてゐる旧校舎が

退学処分の時代に十期の集中成と自己負しながら中心に居たようと思う。学生生活の記憶が、自分の都合の良い思い出に替わっているようなので、久しぶりに卒業アルバムを開いてみた。1977年卒業。気が付くともう28年も前になつてしまつていた。

卒業以来、同窓会や母校に顔を出しては居るが、実際に懐かしくクラスメートと会つた時に、心から友よ。仲間よど、呼び掛け合えることが出来るのだろうか？数年前から、専門学校で非常勤の講師も始め、今年の4月から仕事先の施設へサラリーマンのように毎日通り働くようになった。年齢を重ねる毎に、社会の仕組みが絡み付き身動きも取れないようになつていて。奇を衒う生き方に自分らしさを見出そうとして、裏打ちのない倫理観や常識に囚われたり縛られないように、博識張った社交辞令など真つ平だと刹那的でニヒルになろうとして暮らしてきたつもりだつたのに、いつしか非凡に憧れながら、平々凡々な日々に埋もれて暮らしていた。

弾き語りの唄い人として食べることも出来ず、音楽的な才能も資質も環境にも恵まれず、手に入れる努力もしないでいるうちに髪は白くなり気が付くと孫が産まれて居た。それでも暮らせる場所だけを掠めるように暮

努力しても解決しない物事はある。卒業アルバムには「求めよ、そうすれば与えられるであろう。搜せ、そうすれば見いだすであろう。門をたたけ、そうすればあけてもらえるであろう。すべて、求めらる者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。マタイによる福音書 第七章七節から八節」と書かれてはいるが…。

若い頃は ただそれだけで  
すべてのことが 許されて

過ちさえも 美しく  
わがままであれば あるほどに

幸せそうな 人たちが  
12月の灯りの 下にいる

生まれたときから 僕たちは  
滅びてゆく道の 上にいる

漏ひてゆく道の上にし。

若い頃のままであれど  
少女のように少年のように  
夢うつつを並べ替えて

夢とやみを  
えやみを覆い  
頬紅を塗る

幸せそうな  
泣いて笑い  
人たちは  
花を咲かす

生まれたときから 僕たちは  
滅びてゆく道で 花を飾る

涙ひでりく道に  
花を食る

「幸せそうな人たち」  
作詞／作曲 大塚康博



の顧問になりました  
塚原治です。出身は  
茨城県、北星余市創  
立の年である196  
5年の生まれです。

採用されたのは1990年で、教科はも  
ともと国語科でしたが、今は情報科とい  
う教科を担当、そして40期生の担任をし  
ています。

数年前に赤井川村に家を建てました。  
強歩遠足のコースの途中、第二関門大正  
橋の付近です。余市や小樽ではなく、な  
ぜ赤井川村に住むことになったのかとい  
うと、そこには同窓会関係の縁があるの  
です。

結婚して子供が産まれ、アパートも手  
狭に感じて、そろそろ家でも建てようか  
と考え、土地を探していたところ、赤井  
川村役場に勤めている同窓会会長の馬場  
さんと話をする機会がありました。赤井  
川の話を聞いて、子供をのびのびと育て  
るにはとてもいい環境だし、なにより土  
地は安かつたし、妻も田舎好きだったの  
でそこに住もうと決めました。そして土  
地を譲ってくれたところも同窓生の家で  
した。通勤時間も20分くらいで、季節の  
移り変わりを楽しむことができます。最  
近は冷水峠から見る、カルテラの中の朝  
日に輝く雲海と羊蹄山がきれいですね。

庭の草刈やストーブ用の薪づくり、家  
庭菜園づくりや除雪などに追われる休み  
の日ですが、表現次第では優雅な暮らし

です。なにせ田舎なので、取得した土地  
は広い、ただ住むだけでは広すぎるくら  
いです。庭を流れる小川ではヤマメ  
が釣れるし、庭をオフロードバイクやス  
ノーモービルで走り回って遊べるし、山  
菜取りやキノコ狩りも庭で出来る、空気  
がきれいで視力0.1でも裸眼で天の川が  
はつきり見える…これで定時に帰れたら  
言つことなしなんですが…

そんな田舎暮らしにもこの秋には仲間  
がふえました。隣に素敵なログハウスが  
建ち引っ越しして来た人がいるのです。同  
僚の安河内先生です。

98年5月、突然  
脳出血で倒れ、生  
死を彷徨いながら  
も今は明日に向つ  
て生きているGA  
Nさん。多くの身  
体機能を失い、深い「北星の教育」への  
思いを残しながら教壇を去りました。病  
気と闘いながら、自らの意思を表情とあ  
の独特なしわがれ声、そして右手の筆談  
で伝えます。“書いて伝える”はGANさ  
んの得意技です。GANさんの傍らには、  
いつもメモ用紙とペンがあります。

しかし、年々右手の力も弱くなつてき  
ています。そこで、奥様はリハビリを兼  
ねて、GANさんの生きる力をペンから  
絵筆にかえて表現する苦みをされてきま  
す。そして7月、「明日へTOMORROW

今年度から同窓会  
の顧問になりました  
塚原治です。出身は  
茨城県、北星余市創  
立の年である196  
5年の生まれです。



です。なにせ田舎なので、取得した土地  
は広い、ただ住むだけでは広すぎるくら  
いです。庭を流れる小川ではヤマメ  
が釣れるし、庭をオフロードバイクやス  
ノーモービルで走り回つて遊べるし、山  
菜取りやキノコ狩りも庭で出来る、空気  
がきれいで視力0.1でも裸眼で天の川が  
はつきり見える…これで定時に帰れたら  
言つことなしなんですが…

そんな田舎暮らしにもこの秋には仲間  
がふえました。隣に素敵なログハウスが  
建ち引っ越しして来た人がいるのです。同  
僚の安河内先生です。

98年5月、突然  
脳出血で倒れ、生  
死を彷徨いながら  
も今は明日に向つ  
て生きているGA  
Nさん。多くの身  
体機能を失い、深い「北星の教育」への  
思いを残しながら教壇を去りました。病  
気と闘いながら、自らの意思を表情とあ  
の独特なしわがれ声、そして右手の筆談  
で伝えます。“書いて伝える”はGANさ  
んの得意技です。GANさんの傍らには、  
いつもメモ用紙とペンがあります。

## GANさん、明日へファイト

### —— 14期 平野 満寿美



岩本孝一先生

展」が開催され  
ました。会場に  
飾られた作品に  
は、力強さやユ  
ニモアも感じら  
れ、画家として  
のGANさん  
も、なかなかの  
ものです。

会場には、学  
級通信や教育実  
践記録等も置か  
れ、多くのお客様  
がご覧になつ  
て、時々GAN

さんに質問し、答える様子もありました。  
私は、置かれていた卒業文集を開いて、  
クラスメートの名前をメモに書いたり、  
学校祭の合唱の話しをして、その歌を大き  
な声で歌つたりと、私以上に昔の記憶  
がどんどんよみがえつてきていたようで  
す。また、実践記録のページを開いて、  
誇らしげにほほ笑んでいました。

病床にありながらも、「北星の教育」への  
熱い思いと愛情を持ち続け、北星余市  
の教師としての誇りに満ちているGAN  
さんは輝いて見えました。今を自分らしく  
生きているGANさん！ 明日へ：ファ  
イト！！



キタさん、夏  
休み直前「弱つ  
てきた」と聞い  
て、四人で久し  
ぶりに見舞いに行  
った時は、やせてはいたが意外に元気  
だつたね。少しホツとしたよ。  
夏休み明けすぐに、「亡くなつた」と  
の知らせに駆けつけたが、二回りも小  
さくなつて布団の中に横たわつていた。  
あの時はもう、末期ガンだつたんだね。  
元気そうに見えたのは、モルヒネによ  
つて最後の命を燃やしていたからだつ  
たんだね。悲しかつた。

八年前、喫煙室で具合悪そうに「微  
熱が続いているんだ。」今は一年の担任  
だから「微熱ぐらいでは休めないよ。」  
と笑つた。それでも病院にいく事を約  
束してくれたが、そのときはもう手遅れ  
だつたんだね。

キタさんは分からなかつたが、体が  
弱つていたところに、心臓の弁に雑菌  
がついて弁がボロボロになつていてん  
だよ。そのボロボロになつた弁の一部  
が、脳の大重要な血管を詰まらせてしま  
つたんだよ。

人工弁を付けて、脳外科手術をした  
が、寝たきりになつてしまつたね。手  
術で頭蓋骨の一部を取つたから、側頭  
葉の部分がへこんでたよね。それでも、  
見舞いに行くといつも喜んでくれたね。  
ね。リハビリも頑張つていたね。

でも、56歳の命だつたんだね。悲し  
いよ。キタさんは、運が悪かつたんだ  
ね。我々は、運良く生きながらえてい  
るが、悲しいよ。



## キタさんへ 北口時雄先生への追悼文

### 幅口 和雄

北口時雄先生

# 校長就任あいさつ

思い出を振り返って

簞輪 菊雄

同窓会員の皆さん、お元気でお過ごしのことと思います。日頃、本校教育へのご支援・ご協力を寄せたいたいと思いますことを心より感謝いたします。



本年4月より皆さんの母校北星余市高校の校長に就任いたしました。遅ればせながら紙上を借りてご挨拶申し上げます。同窓会顧問は塚原先生にバトンタッチしました。私は北星余市との最初の出会いは、「新しい学園づくりをめざしてーある私立高校10年の歩み」でした。読んだ私は衝撃を受けました。「こんな学校もあるのだ」が正直な気持ちでした。公立高校からの誘いを断つて、私は北星余市に職を求めました。赴任早々11期生C組56人の担任となりました。右も左も分からぬ私でした。クラスには「先生は教師1年目で新米だけど、私たちには9年間生徒やつてきたから任せとけ」と、何とも心強い仲間がありました。1人も欠けることなく56人全員が進級しました。当時はそれが普通と思っていましたが、今から思えばたいへんな出来事でした。

1975年は9期、10期、11期と3つの学年が4クラスそろう創立以来初めての年となりました。それ以降担任として6回の卒業生を送り出しましたが、どの学年との出会いもそれぞれに私の人生の中にしっかりと刻まれています。

## リニューアルした合宿所で行いました

ずいぶんと時が流れたため、前回行つたクラス会がいつだつたか誰も覚えてないといつた12期3年C組のクラス会が7月2日～3日、リニューアルした本校合宿所で開催され、道外からも2名が参加してくれるなど懐かしい顔が集まりました。

タイムスリップした時間のなかで、在学時の裏話があつちこつちから聞こえてくる大暴露大会などもあり、予想以上に盛り上がりを見せました。

また、トイレは水洗、ユニットシャワー完備の合宿所はどこに寝ころんでも綺麗な状態のため、昔の合宿所を知っている者にとっては、こちらも驚きといったところでした。

翌日はガンさん(若本先生)のところへも顔を出し、楽しいクラス会を終了しました。ご出席頂いた簞輪先生・加藤先生・佐々木先生ありがとうございました。

▲シャワー室、ランドリー室、体育会系部活動に重宝されています

廊下もこんなにキレイです

▲宿泊室

▲合宿所外観

食堂
▶

## 編集後記



毎年、編集作業時期(10月～11月)になるとわたくし仕事が忙しくなるのですが、今年は夏休み明けから“忙殺”されていたため編集作業が大分おろそかになってしましました。

校正が上がってきても細かいチェックもせずに心優しいB先輩に『おまかせ』という感じでしたが、とにかく今年も無事発行できホッとしています。皆様ご協力ありがとうございました。

同窓生の皆さん！！来年はあなたに「出演依頼」の声がかかるかもしれません。その折是非快くご承諾して下さいね。頼りない編集長からのお願いです。(え)

Shiripaの星 Vol.5  
2005年11月29日発行

顧問 塚原 治  
編集長 松村 悅子 (15期)  
副編集長 松浦 一法 (12期)  
編集委員 安藤 栄子 (1期)  
本間美智子 (5期)  
馬場 希 (12期)  
平野満寿美 (14期)

[発行]

北星学園余市高等学校同窓会「シリバの星」編集委員会  
〒046-0003 余市郡余市町黒川町96番地  
TEL (0135)23-2165 FAX (0135)22-6097  
E-mail hokuseiy@netfarm.ne.jp